

各種様式（準則）について

認証保育所制度導入に伴い当認証を受けようとする施設においては、豊田市認証保育所認証要綱に定める各基準を「記録」する必要があります。その記録の準則を別添のとおり作成いたしました。施設での記録作成にお役立てください。

なお、ここに示す様式はあくまで準則ですので、施設の事情、使いやすさを考慮して、別に用意されることや変更することは差し支えありません。

【添付様式】

- ① 清掃点検表
- ② SIDS 関係 睡眠観察表
- ③ 保育記録
- ④ ミーティング記録
- ⑤ 身長・体重記録
- ⑥ ヒヤリハット&防止策
- ⑦ 本日の職員配置状況
- ⑧ 登園届

年度 月 手洗い場清掃実施記録簿

責任者	

*時間と清掃者を明記のこと。確認事項にチェックのこと

日	曜日	時間	清掃者	確認事項					備考	
				蛇口に汚れがついていないか	水槽部に水あかがついていないか	排水口の入口に汚れがないか	配水管のつまりはないか	タワシ等を使用して清掃しているか		感染症予防の為の消毒をしているか(必要時のみ)
1日	()	:								
2日	()	:								
3日	()	:								
4日	()	:								
5日	()	:								
6日	()	:								
7日	()	:								
8日	()	:								
9日	()	:								
10日	()	:								
11日	()	:								
12日	()	:								
13日	()	:								
14日	()	:								
15日	()	:								
16日	()	:								
17日	()	:								
18日	()	:								
19日	()	:								
20日	()	:								
21日	()	:								
22日	()	:								
23日	()	:								
24日	()	:								
25日	()	:								
26日	()	:								
27日	()	:								
28日	()	:								
29日	()	:								
30日	()	:								
31日	()	:								

※当様式は豊田市が示した例示様式です。施設の使用にあわせ別に準備、又は当様式に変更等行って下さい(要所が記載されていること)。07.04保育課

年度 月 トイレ清掃実施記録簿

責任者	

*時間と清掃者を明記のこと。確認事項にチェックのこと

日	曜日	時間	清掃者	確認事項								備考	
				臭気はなく換気はよいか	便器に便や尿が溜流されていないか	便器の洗浄	トイレトーパーパーはあるか	壁面、ドア、ドアノブ、蛇口等の水拭き	便座カバーは清潔であるか(最低2回/日の交換)	雑巾は用途毎に分かれているか	感染症予防の為の消毒をしているか(必要時のみ)		
1日	()	:											
2日	()	:											
3日	()	:											
4日	()	:											
5日	()	:											
6日	()	:											
7日	()	:											
8日	()	:											
9日	()	:											
10日	()	:											
11日	()	:											
12日	()	:											
13日	()	:											
14日	()	:											
15日	()	:											
16日	()	:											
17日	()	:											
18日	()	:											
19日	()	:											
20日	()	:											
21日	()	:											
22日	()	:											
23日	()	:											
24日	()	:											
25日	()	:											
26日	()	:											
27日	()	:											
28日	()	:											
29日	()	:											
30日	()	:											
31日	()	:											

※当様式は豊田市が示した例示様式です。施設の使用にあわせ別に準備、又は当様式に変更等行って下さい(要所が記載されていること)。07.04保育課

年度 月 遊具清掃等実施記録簿

責任者	

*時間と清掃者を明記のこと。確認事項にチェックのこと

日	曜日	時間	清掃者	確認事項				備考	
				玩具専用の清潔な雑巾で玩具を拭いているか(プラスチック製の玩具全て)	人形やぬいぐるみは日光消毒しているか(2回以上/週)	ままごとのエプロンや布団はよごれていないか(週1回の洗濯)	破損している玩具は取り除いてあるか		感染症予防の為に消毒をしているか(必要時のみ)
1日	()	:							
2日	()	:							
3日	()	:							
4日	()	:							
5日	()	:							
6日	()	:							
7日	()	:							
8日	()	:							
9日	()	:							
10日	()	:							
11日	()	:							
12日	()	:							
13日	()	:							
14日	()	:							
15日	()	:							
16日	()	:							
17日	()	:							
18日	()	:							
19日	()	:							
20日	()	:							
21日	()	:							
22日	()	:							
23日	()	:							
24日	()	:							
25日	()	:							
26日	()	:							
27日	()	:							
28日	()	:							
29日	()	:							
30日	()	:							
31日	()	:							

※当様式は豊田市が示した例示様式です。施設の使用にあわせ別に準備、又は当様式に変更等行って下さい(要所が記載されていること)。07.04保育課

責任者	

年度 月 調理室清掃実施記録簿

*時間と清掃者を明記のこと。確認事項にチェックのこと

日	曜日	時間	清掃者	確認事項								備考	
				室内の清掃はできているか。清潔になっているか。	室内の整理整頓はできているか。	冷蔵庫内・食材庫は整理整頓され清潔になっているか。	生ゴミ・残菜処理は適切か。	調理設備・器具は衛生的に管理されているか。	シンク内に物が置かれていないか。	床面の清掃はされているか。	用途ごとに雑巾を使い分けられているか。		感染症予防の為に消毒をしているか(必要時のみ)
1日	()	:											
2日	()	:											
3日	()	:											
4日	()	:											
5日	()	:											
6日	()	:											
7日	()	:											
8日	()	:											
9日	()	:											
10日	()	:											
11日	()	:											
12日	()	:											
13日	()	:											
14日	()	:											
15日	()	:											
16日	()	:											
17日	()	:											
18日	()	:											
19日	()	:											
20日	()	:											
21日	()	:											
22日	()	:											
23日	()	:											
24日	()	:											
25日	()	:											
26日	()	:											
27日	()	:											
28日	()	:											
29日	()	:											
30日	()	:											
31日	()	:											

※当様式は豊田市が示した例示様式です。施設の使用にあわせ別に準備、又は当様式に変更等行って下さい(要所が記載されていること)。07.04保育課

記載例 睡眠中の観察表

〇月〇日 (〇)

体の向き	仰向け ↑	うつ伏せ ↓	右向き →	左向き ←
観察項目に異常がなければ ✓または良・不良に○				

園長	主任	確認者
		サイン または印

R6.4~

時間	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30	12:45	13:00	13:15	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45	15:00	備考								
室温 (°C)				19°C	19°C	19°C	19°C	20°C	20°C	20°C	21°C	21°C	22°C													
湿度 (%)				55%	56%	54%	54%	56%	53%	53%	52%	52%	51%													
記録者				M	M	M	M	M	L	M	M	M	M													
番号	名前	体向	呼吸	顔色	体向	呼吸	顔色	体向	呼吸	顔色	体向	呼吸	顔色	体向	呼吸	顔色	体向	呼吸	顔色	体向	呼吸	顔色	睡眠時間	特記事項	名前	番号
1	豊田 花子	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	11:45~12:00	12:00顔が赤い(37°C) 12:10(37.5°C)呼吸もやや浅く 母親に連絡。12:45母親迎え。 降園。	豊田 花子	1
2	豊田 ラリー	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	13:50に起きた場合は、14:00 (次の確認時間)に起きた状態の 確認結果を記入	豊田 ラリー	2	
3	豊田 潤	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	: ~ :	病欠 (発熱)	豊田 潤	3
4		1 記載上の注意																								
5		①体向を確認し、矢印で記載する。(仰向け ↑ うつ伏せ ↓ 右向き → 左向き ←)																								
6		②各観察項目に異常がなければチェック(✓)または 良・不良 に○を付け、対応の処置をとる。																								
7		③状態に異常がある時は、特記事項に記入する。(例:鼻づまり、咳、発熱 等)																								
8		④欠席(病欠・事故欠)の場合は、最初の時間帯に斜線を引く。																								
9		⑤0歳児は、5分間隔が望ましい。																								
10		⑥寝なかった子は、特記事項に記入する。																								
11		⑦訂正する場合は、記録者の訂正印を押す。																								
12		2 睡眠中の注意																								
13		①カーテンで室内が暗くなりすぎて、園児の顔色や呼吸の様子が見えないことのないように注意する。																								
14		②体の向きだけでなく、顔色や呼吸も観察する。																								
15		③うつ伏せ寝の時は体位を変えるが、すぐに元通りになってしまう場合は保護者の同意を得ておく。																								
16		④室内を暖めすぎない。																								
17		⑤布団が顔にかからないように、首から下に掛ける。																								
18		⑥ベビーベッドや布団の周囲の整理整頓をし、ベビーベッドに物を掛けない。																								
19		⑦SIDSに気を付け、観察をしっかりと行う。																								
20		良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	: ~ :			

睡眠中の観察表

月 日 () 記録者()

体の向き	仰向け	↑	うつ伏せ	↓	右向き	→	左向き	←
観察項目に異常がなければ ✓または良・不良に○								

園長	主任	確認者

R6.4~

時 間	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30	12:45	13:00	13:15	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45	備 考							
室 温 (℃)																							
湿 度 (%)																							
確認者																							
番号	名前	体 向	呼 吸	顔 色	睡眠時間	特記事項	名前	番号															
1		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			1
2		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			2
3		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			3
4		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			4
5		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			5
6		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			6
7		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			7
8		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			8
9		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			9
10		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			10
11		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			11
12		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			12
13		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			13
14		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			14
15		良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	: ~ :			15

«記入の仕方の留意点» 施設名 _____ (歳 _____ ヶ月)		個 別 月 案					月 _____	園児名 _____	施設長 _____	起案責任者 _____
子どもの姿	* その子どもの全体的な姿を捉えつつ、特徴的な姿も具体的に書く	ねらい	* 子どもの姿から今育ちつつあるものを取り上げる。そして、この子にもっとも必要な育ちは何かを考え、 育て欲しい生活面（食事・排泄・着衣・清潔・睡眠）を1つ、あそび面（情緒・健康・人間関係・環境・言葉・表現）を2つ、ねらいを立てる	保育者の援助	* 具体的に書いておくと援助がしやすい ◎子どもの姿・ねらいから望ましい方向（もっと人と関わりたい、さらにやりたいという意欲）に育っていく為に、保育者はどう援助すると良いかを考えて書く					
	1 週 (/) ~ (/)	2 週 (/) ~ (/)	3 週 (/) ~ (/)	4 週 (/) ~ (/)	5 週 (/) ~ (/)					
子どもの姿（生活面）	◎生活面（食事、排泄、睡眠、着脱等）についての姿を具体的に捉えて書く ◎あそび面（情緒の安定、健康、人間関係、環境、言葉、表現等）について具体的に捉えて書く <u>* 具体的に書くと子どもの育ちが観えてきます</u>									
子どもの姿（あそび面）	◎保育の週の反省を記録する * 子どもが表す姿に対して、保育者はどのように援助した（向き合った）のか。その時の子どもの反応から向き合い方は、その子の育ちに合っていたのかを反省する * 反省を翌週に活かせるように、保育者の援助がねらいを達成出来る援助であったかも同時に反省する									

施設名 _____ 個別月案 月 園児名 (歳 ヶ月)						施設長	起案責任者
	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	
1週							
	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	
2週							
	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	
3週							
	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	
4週							
	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	日 ()	
5週							

※当様式は豊田市が示した例示様式です。施設の使用にあわせ別に別に準備、又は当様式に変更等行って下さい（要所が記載されていること）。

<参考例：0～1歳児> 施設名 _____ 個別月案 月園児名 _____ (歳 ヶ月)					施設長	起案 責任者	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたい!という気持ちがあり、すぐに食べやすい手づかみになることが多い。それでも、保育者が手を添えるとスプーン等を持ち食べようとする。 ・保育者と一緒にいることで安心して動き出せ、自分の動きに対して保育者が言葉や関わりで返してくれることを楽しむ姿が多く見られるようになってきた。 	ねらい	<生活面> ○ 保育者に手を添えてもらいながらスプーンやフォークで食べようとする ----- <あそび面> ○ 保育者が見守る中で、自分の思いを出しながら遊ぶことを楽しむ ○ 保育者と一緒にリズムに合わせて口ずさんだり身体を揺らしたいする楽しさを感じる	保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分で食べたい!」という気持ちがあるので、この気持ちを十分に認めながらスプーン等でも食べられる嬉しさを感じられる手の添え方をしたり、「スプーンで食べれたね。上手に持てたね。」と笑顔で具体的に認めていく。 ・保育者に心を許してくれているので、自分の気持ちを表したら受け止め受け入れられる心地良さを感知られる関わりを意識していく。そして、本児が楽しんでいることに共感しながらより楽しめるような認め方を心がけていく。 		
	1週 (6/1 ~ 6/5)	2週 (/)	3週 (/)	4週 (/)	5週 (/)		
(生活面) 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・食欲旺盛でよく食べることが出来る。うまくすくえないとスプーンをおぼんに置き、両手で手づかみで食べている「手が汚れちゃったね。きれいにしようね。」とタオルで拭き、スプーンを持たせるとスプーンで食べた。様子を観ながら手や言葉を添えていきたい。 						
子どもの姿 (あそび面)	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○ちゃんお花きれいね。」と名前を呼んで声を掛けると保育者の方を向いて近づいてきていた。言っていることをよく理解している表情をする。ゆっくり優しく話しかけ真似て話そうとする時には目を見てじっくり関わり、心地良さを感知られるようにしたい。 ・木馬に乗って「おんまはみんな～」と保育者が歌い始めると手を叩きたい「パカパカ。」と言うと「ぽっぽっ。」と真似たいする姿が見られた。リズムに合わせて体を動かすことを楽しいと感じられるようになってきているので、様子を見てリズムを楽しめるようにしていく 						

<参考例：1～2歳児> 施設名 _____ 個別月案 月園児名 _____ (歳 ヶ月)		施設長	起案責任者		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿しても気持ちが悪いという表情や仕草を目にすることは無い。トイレには保育者と機嫌よく行く。 ・保育者に自分の思いを言葉や表情、仕草で表現する姿が見られるようになってきた。そして、保育者の話しかけることに対しても本児の気持ちを表現しようとする本児である。 	ねらい	<生活面> ○保育者に促され一緒にトイレに行き便器に座り排尿しようとする	保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの便器に座ることに慣れるように様子を見ながらゆったりと関わり便器に座れたことを具体的に認めることを大切にしていく。又、排尿しようとした時には「おしっこ出るかな。」と声をかけ排尿しようとする感覚がつかめるような投げかけをしていく。 ・自分の思いを言葉にして伝えようとする本児である。その気持ちをその都度受け止めるようにし、話したら聞いてもらえるという心地良さが感じられる受け止めとなるように意識し向き合っていく。
	<あそび面> ○保育者に受け止められながら言葉のやりといを楽しいと感じる ○保育者に自分の思いを言葉や表情、仕草で表現しようとする				
	1週 (6/1 ~ 6/5)	2週 (/ ~ /)	3週 (/ ~ /)	4週 (/ ~ /)	5週 (/ ~ /)
子どもの姿 (生活面)	<ul style="list-style-type: none"> ・紙パンツとスポンの向きを揃えて置き「たくちゃん、はけるかな？」と言うと自分で紙パンツとスポンをはこうとする姿が見られた。紙パンツは、きつくてうまく上がらず「やって〜。」と言うが、スポンは自分ではける。自分ではけた嬉しさを感じられる認め方を意識していく。 ・言葉数が増えてきて保育者の言葉かけには必ず耳を傾け、本児なりの言葉で話そうとする姿が見られる。又、自分の思いも「先生！これ欲しい！」「おかわりちょーだい。」等言葉で伝えてくる姿も見られる。目を合わせゆったりと聞き一言一言丁寧に受け止めていく。 				
子どもの姿 (あそび面)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と手をつないで散歩に行く。水たまりがある度に手を入れピチャピチャしたり、足を入れて水の音と感触を楽しんだりしていた。雨あがりだからこそ楽しめることである。「音がピチャピチャするね。」等と受け止め、発見することが楽しくなるようにした。 ・保育者と一緒に走ったり体を動かしたりすることが好きな本児である。この「楽しいな」という気持ちが心の中に残る認め方や関わりが必要なのだと思うが、出来ていなかったと反省する。今後は、「楽しいな」という思いが心に残る認め方や関わりを心がけていく 				

ミーティング記録

日時	年 月 日 () : ~ :									
参加者										
検討内容										
記入者										
欠席者 回覧										管理者 確認

※当様式は豊田市が示した例示様式です。

施設の使用にあわせ別に別に準備、又は当様式に変更等行って下さい（要所が記載されていること）。

記入例

ミーティング記録

日時	H29年 4月10日(火) 16 : 30 ~ 17 : 00										
参加者	豊田 一子、豊田 二子、豊田 三子 豊田 四子										
検討内容	<p>最近の保育で困っている点や各自の意見をフリーで話し合う。そこでの内容は次のとおり。</p> <p>午後4時半になり、児童が少なくなったので残っている児童を豊田 三子さんが保育しながら3名で話し合いをする。</p> <p>1. ○△公園に行くコースについて注意すること</p> <p>○○先生：○△公園に行く途中の道路で工事が始まるらしい。工事開始後は経路を変更しなければ。</p> <p>△△先生：遠回りになるが×××を歩いていけば。</p> <p>□□先生：そこは車の交通量が多いから今まで以上に注意しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩コースの下見に行く日時と誰が行くか ・散歩コースで注意することは何か ・散歩（歩いている時と現地）での保育者の配置場所と役割分担 <p>2. ○○くんの関わり方について</p> <p>○○先生：入園して一ヶ月経つのに○○くんが施設に馴染んでくれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○くんの良いところはどこか。気になるところはどこか。 ・良いところを大切にしながら、どんな関わり方をすると○○くんが心地良く生活出来、育ちにつなげていけるか 										
記入者	豊田 四子										
欠席者 回覧	田中	佐藤	鈴木							管理者 確認	愛知
	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ								

年度 児童身長・体重記録

	児童名	学齢	計測日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
1			身長												
			体重												
2			身長												
			体重												
3			身長												
			体重												
4			身長												
			体重												
5			身長												
			体重												
6			身長												
			体重												
7			身長												
			体重												
8			身長												
			体重												
9			身長												
			体重												
10			身長												
			体重												
11			身長												
			体重												
12			身長												
			体重												
13			身長												
			体重												
14			身長												
			体重												
15			身長												
			体重												
16			身長												
			体重												
17			身長												
			体重												
18			身長												
			体重												
19			身長												
			体重												
20			身長												
			体重												

※当様式は豊田市が示した例示様式です。施設の使用にあわせ別に別に準備、又は当様式に変更等行って下さい（要所が記載されていること）。

令和 年度 月 ヒヤリ・ハット体験&予防策

番号	ヒヤリハット体験	予 防 策
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

令和 年度 月 ヒヤリ・ハッと体験&予防策

番号	ヒヤリハット体験	予 防 策
1	○乳児をおんぶして乳児室から出るとき、子どもの頭が横に倒れていて扉でぶつけてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ・おんぶをしている時は、扉を全開にし、職員同士で子どもの体勢が常に安全であるかを確認する。また、扉の開閉が狭いところなどは避けるようにする。 ・万が一けがをした場合には、早急に患部を冷やし、様子を見る。
2	○園に慣れてきたこともあり、子どもたち自身で保育室の扉の開閉をする姿が多くなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者同士の連携を再確認し合った。(子どもの動きから目を離さない。) ・スポンジで作ったストッパーを扉のところに必ず挟むようにすることを再確認した。
3	○2歳児が保育室にある滑り台の上から飛び降り、下にいた1歳児にぶつかりそうになり危険であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・滑り台は、下から登ったり、上から飛び降りたりしないことを知らせた。 ・滑り台の安全な遊び方を知らせ、遊びの様子を常に把握するようにした。 ・2歳児の遊びが活発になり、1歳児が真似をして遊ぶようになったことから、一時滑り台を保育室から取り除くようにした。
4	○乳児室は畳と床の段差があり、1歳児は転びやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・床と畳の段差をなくすために、クッション材をしきつめた。 ・他に危険なところがないかみんなで洗い出しをしたところ、おもちゃ入れの周りも危険なので、クッション材をはりつけた。 ・保育者同士の連携をとりあって、すみやかに対応できるようにする。
5	○1歳児が自分で扉を開めようとして、指を挟むことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・扉の開閉は必ず保育者が行う。 ・事故防止のため、柵やトイレへ通じる扉などにはストッパーをつける。 ・保護者に周知する。
6	○1歳児が室内にある手作り滑り台の階段を登ろうとして足を踏み外し転び滑り台の角にぶつかり顔にこぶができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育師間で常に目配り、気配り、声かけについて再確認する。 ・室内の配置と子どもの動線を考慮した設置場所に移動させる。 ・すべり台に布が貼ってあるがさらに角にキルティング布にて補強し弾力性を増す。 ・すべり台の敷物を柔らかくマットに換える。
7	○保護者が子どもをベビーベッドに入れたところ柵から身を乗り出しそうになり、近くにいた保育士が抱きとめた。	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げられるような子が起きている時は、ベッドに入れない。 ・寝ている時も目を離さないようにし、目覚めたらすぐに近くにいける位置にいる。 ・保護者に周知する。
8	○シール貼りをしていて誤って口に入れそうになった。(1歳児)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が必ず目を離さないようにする。取り扱うときに保育同士で話し合い安全に遊べるようにする。 ・また、保育室内の整理整頓に努め、危険なものが落ちていないか確認し、誤飲や異食を未然に防止するよう職員間で話し合った。
9	○0.1歳児はかみつくことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・かみつきのある子には、保育者がいつも近くにいる、とっさの時の対応ができるように心がける。 ・興奮してかみつくこともあるので、その子どもの精神状態をよくみて、予想して動けるように心がける。
10	○乳児が乳母車に乗っている時、手でハンドブレーキに触っていた。それに気づかず、保育者がブレーキをかけ、指の端を挟んでしまった。挟みどころが悪ければ、骨折や切断という事態が起こった。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳母車のブレーキをかける時は、子どもがブレーキに触れていないかよく確認してから、かけるようにする。 ・子どもたちには、「ここは触ると危ないところで、指が挟まって痛くなる」ということを繰り返し話し、小さいなりに危険ということが感じられるようにする。
11	○1歳児の子で丈の長いスポンの裾を踏んで歩き滑って転ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・登園後歩行に支障のある場合は、子供のサイズに合ったズボンに替えていく。 ・保護者にも歩行や遊びに支障のないような服装にしてもらうよう働きかけていく。
12	○散歩中見知らぬ人に携帯電話で子どもの写真を撮られそうになった(乳児)	<ul style="list-style-type: none"> ・園長に不審者の人相や姿を知らせ、地域の区長及び警察に連絡をする。散歩に行く時は危険につながるようなことはないか、周りの確認をしながら歩くように職員同士で連絡を取り合い、散歩コースの変更をするようにした。

11. 応急手当

- 止血時は、感染予防のために使い捨て手袋を使用する。

(1) 頭を打った時

症状	応急手当	備考
こぶが出来た	冷たいタオルや冷却パックで冷やし、安静にする。	
繰り返し嘔吐がある	吐いたものが気管や喉につまらないように横向きに寝かせる。 →119番 病院へ	
出血がひどい	傷口をガーゼで押さえて止血をする。 →119番 病院へ	
けが等がなく意識がある	顔色が悪くいつまでも元気がない場合は受診する →119番 病院へ 元気な場合でも24時間安静にして様子を見る。	打った時に症状がない、または、受診時に異常がなくても、その後72時間(3日程度)観察し、何か症状があれば、受診する。
意識がない	心肺蘇生法(気道の確保、胸骨圧迫)を行う →119番 病院へ	

(2) 鼻血が出た時

症状	応急手当	備考
鼻をぶつけて鼻血が出た	少し前かがみに座らせ鼻をしっかりと押さえ圧迫する。 冷たいタオルで額から鼻にかけて冷やす。	鼻をいじってよく鼻血がでる子どもは普段から爪を短く切っておく。 繰り返し鼻血が出る場合は、鼻に傷ができ、出血しやすい状態になっているので一度受診するとよい。
鼻血が止まらない	応急処置をしても止まらない場合(10分以上)は受診する。	

(3) 怪我で出血した時

症状	応急手当	備考
すり傷・きり傷	土や砂などで汚れた場合、速やかに水道水など清潔な流水で洗う。洗い終わったら清潔なガーゼで保護する。深い傷や汚れがひどい傷は、洗浄後は傷口の清潔を保ち、受診する。 出血している場合、出血部位にガーゼ等をあて、直接圧迫止血する。出血が止まらない場合、受診する。	出血している場合、患部を心臓より高くするとよい
ガラスが刺さった	ガラスの破片が深く刺さっている、たくさんの細かいガラスが刺さっている場合は無理に抜かずに受診する。	
くぎが刺さった	刺さった釘を抜き、周囲を強く押して血を絞り出し、清潔なガーゼで保護し受診する。抜けない場合は無理に抜かない。	出血は少ないが、破傷風などの感染に注意する。
トゲが刺さった	トゲ抜きで皮膚からトゲを取り、流水でよく洗い、必要	深く刺さっている場合は無理に

	に応じて清潔なガーゼで保護する。 取り出せない場合は受診する。	取らない。
--	------------------------------------	-------

(4) 骨折・捻挫・脱臼した時

症状	応急手当	備考
痛みや腫れがある	患部を添え木で固定する。添え木は患部の上下の関節が固定できるものを使用する。→119番 病院へ 〈骨折の疑い〉	症状を悪化させることもあるので、無理な固定はしない。
腫れ、内出血がある、または、熱をもっている	患部を安静にし流水、氷のう等で十分冷やし受診する。 マッサージやもんだりして、動かさない。 〈捻挫の疑い〉	冷やすことで、腫れや痛みを和らげる。
手が上げられず“だらり”としている	冷湿布や氷のう等で冷やし、安静にした状態で受診する。 〈脱臼の疑い〉	一度脱臼すると癖になりやすい。 また、脱臼予防のため、腕を引っ張らないよう注意する。

子どもは、ちょっと腕を引っ張ったり、平坦な場所で転ぶだけで、関節を痛めたり、骨折することがあります。安易に大丈夫！と思わず、普段の手足の動きと比べながら十分観察してください。

また、その時は何も訴えない、動きに変化がない場合でも、翌日以降に腫れる、痛みを訴える、気になる動きがある場合があります。数日間は観察が必要です。

(5) 虫にさされた時

症状	応急手当	備考
蚊などに刺された	塗り薬などを使う前に、刺された箇所を流水で洗う。 流水や冷水で冷やすと、痒みや腫れを抑えることができます。 掻き壊して分泌物が出てきたら、流水で洗い流し、カットバンなどで保護する。	汚れたカットバンはこまめに取り替え、清潔を保つ。 新しく薬を塗り直す場合は、洗ってから塗り直す。
小さいハチに刺された	強い痛みがあり赤く腫れる場合は、毒を出し、流水でよく洗い流す。 患部に針が残っていたらトゲ抜きなどで抜く。	絶対に口で毒を吸い出さない。
スズメバチやクマンバチなど大きいハチに刺された	さされた部分をつまみ、毒を出し、流水でよく洗い流す。 患部に針が残っていたら必ずトゲ抜きなどで抜き、受診する。 呼吸困難、発しん、意識障害、強い痛み、腫れがひどい場合 →119番 病院へ	ミツバチの場合は、残った針を摘まむと毒が中に入ってしまうので、指ではじく。
毛虫を触った	ガムテープなどを使い毛を抜き、せっけんの泡で軽く洗った後、流水でよく洗い流す。	体毛に毒があり触れただけでかゆみや発疹がでることがある。

虫刺されは初期の手当てが肝心です。化膿やとびひの原因になりますので、刺された部分を清潔にしましょう。アンモニア水は、毒を中和する効果はありませんので、患部につけないでください。

蜂は黒くて動くものに寄ってくるので、野山を歩く場合は、白い衣服を着用しましょう。

(6) 噛まれた時

症状	応急手当	備考
子どもに噛まれた	流水で洗い冷やす。傷がある場合は、「すり傷」「きり傷」を参照。	揉まないこと
うさぎ・猫などにひどく引っ掻かれた	傷口を石鹸で洗い十分に流した後、受診する。	動物の歯や唾液には細菌が多く感染する危険がある。動物に噛まれたり、引っ掻かれて、出血した場合は止血し、傷口を清潔なガーゼなどで被い受診する。
うさぎ・犬などに深く噛まれた	傷口を水でよく洗い流し清潔なガーゼをあてて、受診する。	

(7) ものを飲み込んだ時

飲み込んだ品名	応急手当	備考
のり、水彩絵の具（水性の絵の具）	心配ない 多量の場合は受診する。	誤飲の対応に困った時の相談電話 大阪（24時間対応） 072-727-2499 つくば（午前9時～午後9時） 029-852-9999 タバコ専門（24時間テープ対応） 072-726-9922 いつ、何を、誤飲した量、症状（顔色、機嫌）等、状況をよく把握し、受診の際に医師へ報告して下さい。
医薬品、漂白剤、洗剤、乾燥剤、殺虫剤、園芸用品、灯油など	相談電話又は119番で指示を仰ぐ 種類、飲んだ時間、量を伝える ※参考：厚労省「救急蘇生法の指針2015」	
たばこ	のどの奥を刺激して吐かせる。 乾燥したたばこは、何か飲ませると吸収されやすい状態になるので何も飲ませずに、吐かせる。 飲み込んだ量が多い場合やニコチンが溶けた濃い液の場合は受診する。 ※2cm以上のたばこを飲み込むと危険！	

(8) 目にごみが入った時

状況	応急手当	備考
ゴミや砂が入って目を開けられず痛がる場合	こすらずに、濡らしたガーゼでそっとふきとる。または、水道水で洗い流す。	無理にこすると目の表面の角膜に傷をつけてしまうことがあるので注意する。
化学薬品、石灰シャボン液などが入った	すぐに大量の水で十分洗い流し、受診する。この時、目に入った洗剤や薬品を持参するとよい。	汚い手で目をこすることがあるので、日頃から遊んだあとは手を洗う習慣をつける。
目を強く打った	目を冷やし、しばらく安静にした後、受診（眼科）する。しばらくしても目がかすむ、見え方がおかしい時は必ず受診する。	目の手当てをする時はきちんと手を洗い清潔にしてから行う。
目を何かで刺した	刺さったものを無理に抜かず、すぐに受診する。目を強く洗ったり、無理に出血を抑えることは避ける。	

(9) 耳や鼻に異物が入った時

状況	応急手当	備考
鼻の出口付近に物がつまった	木の実などの小さな固形物が詰まったときは、片方をふさいで“フン”とやる。 こより等で鼻の穴を刺激し、くしゃみをさせて取る。	
虫が耳に入り、動き回って痛がっている	暗いところで、耳に懐中電灯などの光を当てる。その後早めに受診する。	
耳や鼻の奥で取り出せないところにあるとき	無理に取り出そうとせず受診する。無理をすると耳や鼻を傷つけたり、かえって奥に押し込む可能性がある。	

(10) 歯やあごをうった時

状況	応急手当	備考
歯が緩んだ、口唇の腫れ、歯ぐきから出血	座らせて口の汚れをふき、うがいをさせる。 氷のうや絞ったタオルを口に当てて冷やす。出血がひどい場合は冷やししながら受診する。 歯茎からの出血はガーゼや綿球などを用以圧迫止血する	
歯が抜けた、または折れた	口の中の血液を出させる。 歯の抜けた部分に硬くまとめたガーゼを置き、強くかませたまま受診する。 抜けた歯を、乾燥させないように生理食塩水、歯の保存液、または、牛乳に入れて医療機関に持参する。 歯根膜を損傷させるおそれがあるので、歯の根の部分には触れない。	歯が抜けた場合は、歯根膜（歯の根の部分）が生きていれば、再び機能を回復する可能性があるため、乾燥させず保存する。歯根膜は乾燥に弱い。 保存液は薬局で購入できる。
あごの骨を強く打って腫れた 出血はないが腫れている	氷のう等で冷やししながら受診する。	

(11) 水に溺れた時

状況	応急手当	備考
意識がない 呼吸していない 脈がない	心肺蘇生法（気道の確保、胸骨圧迫）を行う →119番 病院へ	
意識がある	毛布などで保温し受診する。	
水にもぐった程度	様子を見る	

(12) やけどをした時

状況	応急手当	備考
赤くなった程度	流水で十分冷やしガーゼでおおう。痛みが取れるまで冷やし続ける。	すぐに水道水やシャワーで直接、または服の上から冷やす。服を無理に脱がせない。
水ぶくれができた	水ぶくれをつぶさないようにしガーゼで保護する。やけどの範囲に応じて受診する。	薬品でやけどをした場合は、水で洗い流す。
片腕、片足以上の広範囲のやけど	冷やす。子どもの場合、全身の1割以上をやけどしたら重症と判断する →119番 病院へ	水泡はつぶさない。 ガーゼ等で覆う場合は、やけどの部位を圧迫しない。

令和2年8月修正

登園届（再登園に係るかかりつけ医の判断について）

児童氏名	
病院にかかった日	年 月 日
病院名	
病名	<input type="checkbox"/> 百日咳 <input type="checkbox"/> 麻疹（はしか） <input type="checkbox"/> 風疹（三日はしか） <input type="checkbox"/> 水痘（水ぼうそう） <input type="checkbox"/> 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） <input type="checkbox"/> 咽頭結膜炎 <input type="checkbox"/> インフルエンザ <input type="checkbox"/> 結核 <input type="checkbox"/> 流行性角結膜炎 <input type="checkbox"/> 急性出血性結膜炎 <input type="checkbox"/> 腸管出血性大腸菌感染 <input type="checkbox"/> 髄膜炎菌性髄膜炎 <input type="checkbox"/> その他の感染症（溶連菌感染症）
医師からの指示	
経過	

上記の内容については、かかりつけ医による判断と相違ありません。

年 月 日

保護者氏名

登園届（再登園に係るかかりつけ医の判断について（記入例））

児童氏名	〇〇 〇〇
病院にかかった日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
病院名	〇〇クリニック
病名	<input type="checkbox"/> 百日咳 <input type="checkbox"/> 麻しん（はしか） <input type="checkbox"/> 風しん（三日はしか） <input type="checkbox"/> 水痘（水ぼうそう） <input type="checkbox"/> 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） <input type="checkbox"/> 咽頭結膜炎 <input checked="" type="checkbox"/> インフルエンザ <input type="checkbox"/> 結核 <input type="checkbox"/> 流行性角結膜炎 <input type="checkbox"/> 急性出血性結膜炎 <input type="checkbox"/> 腸管出血性大腸菌感染 <input type="checkbox"/> 髄膜炎菌性髄膜炎 <input type="checkbox"/> その他の感染症（溶連菌感染症）
医師からの指示	（例） ・発症後5日かつ解熱後2日を経過するまで登園不可 ・登園不可期間 〇〇月 〇〇日 ~ 〇〇月 〇〇日
経過	（例） 〇〇月〇〇日に発熱し、翌日病院にかかる。 検査の結果、インフルエンザA型と診断を受ける。 〇〇日に解熱し、発症後5日が経過したため、〇〇日から登園する。

上記の内容については、かかりつけ医による判断と相違ありません。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

保護者氏名 〇〇 〇〇